



芸西観測所の 22 cm 反射鏡と関氏

りと認めにくかった。1969～1970年のベネット彗星の尾が、うす曇りの夜空に、一見してびっくりするほど強く明るく輝いていたことを考えると、今回のコホーテク彗星は、それには遙かに及ばなかった気がした。1965年の池谷・関彗星もかなり淡い尾で見にくかったが、それでもコホーテク彗星のようなことはなかった。1965年の10月下旬、東の地平線上に、太陽から離れて昇って来た時には、頭は見えなくても、その長い尾に先ず驚いたもの

だった。この2つの彗星は共に日心距離が非常に小さいが、あまりにも太陽に近づく彗星は、近日点通過後の光度の予報が極めて難かしいことを改めて知らされた。

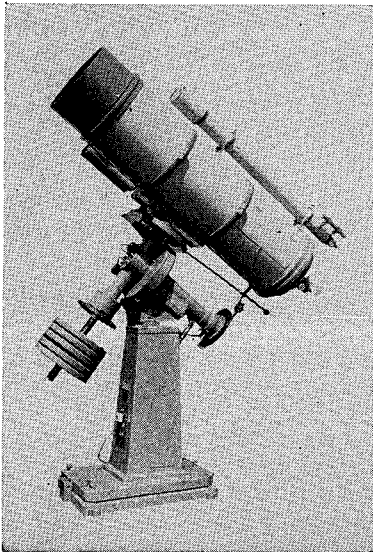
近日点通過前の12月27.0日 (UT) ごろ、白屋、太陽のそばに -5~-6 等に輝く同彗星を観測した。という報告を2人の方から聞いたが、私はその頃、折角芸西観測所に頑張っているながら、到底白屋は見られぬものだという先入観を持っていて、それを確かめることの出来なかったことは残念なことであった。大彗星接近の時には、いつも後悔が残る。

(181頁よりつづく)

けは十二分の時間を掛けた。受信機1台のチューナップに丸2ヶ月掛ったし、アンテナ1本の調整だけで、シャックと屋上の間を60回も往復した。昇降した階段は2280段であった。

軌道計算は昔は計算尺と地球儀だけが武器であったが、精度を上げるため対数表と筆算になり、現在は複雑なものは計算図表を作ったり、軌道経路図を作って時間の短縮を計っている。

今後はこれらの生データをどう処理するかじっくりと考えてみたいし、教材にも利用しようと思っている。干渉計等を工夫すれば、方位や高度も精度良く測れるだろう、そしたら、望遠鏡で直接、国産衛星を見る事が出来るかも知れない。



天体望遠鏡
ドーム、製作

西村製の天体望遠鏡

40 cm 反射望遠鏡の納入先

- | | |
|--------|---------------------|
| No. 1 | 富山市立天文台 |
| No. 2 | 仙台市立天文台 |
| No. 3 | 東京大学 |
| No. 4 | ハーバート大学 (USA) |
| No. 5 | ハーバート大学 (USA) |
| No. 6 | 台北天文台 (TAIWAN) |
| No. 7 | 北イリノイズ大学 (USA) |
| No. 8 | サン・チェゴ大学 (USA) |
| No. 9 | 聖アンドリウス大学 (ENGLAND) |
| No. 10 | 新潟大学高田分校 |
| No. 11 | ソウル大学 (KOREA) |
| No. 12 | 愛知教育大学(刈谷) |

606 京都市左京区吉田二本松町 27

株式会社 西村製作所

TEL. (075) 771-1570
691-9580